2027年３月期
第２四半期 決算説明資料

株式会社エクサウィザーズ(4259)

2026年11月11日

EXAWIZARDS

1 2027年３月期 第２四半期決算サマリー

2 セグメント別業績概況

3 ビジネス・アップデート

4 2027年３月期 通期業績見通し

5 Appendix

01.

2027年３月期
第２四半期決算サマリー

EXAWIZARDS

2027年３月期第２四半期連結業績

売上高
3,811 百万円 (YoY +36.5%)

営業利益
326 百万円(YoY ▲18.7%)

セグメント別業績

AIプロダクト事業

売上高
1,645 百万円(YoY +42.6%)

営業利益
476 百万円(YoY ▲2.1%)

AIソリューションサービス事業

売上高
2,206 百万円(YoY +33.5%)

営業利益
786 百万円(YoY +66.8%)

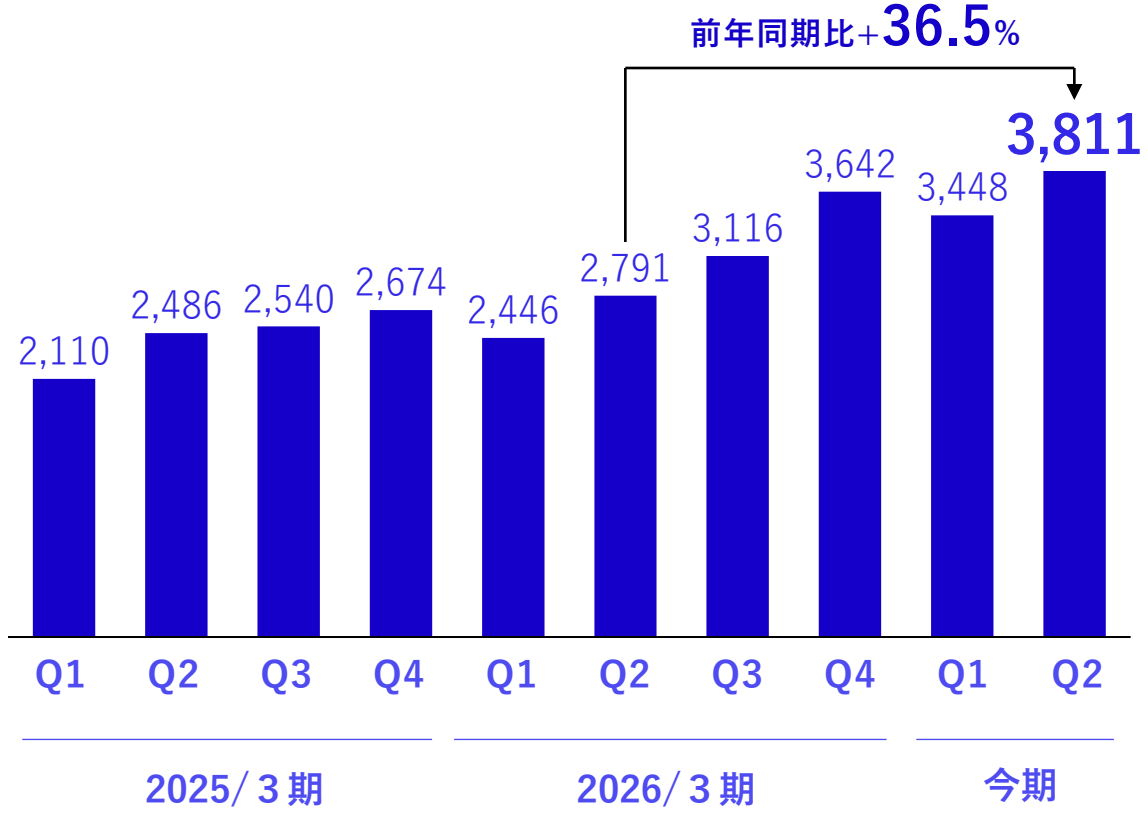
Q２主要トピックス

- 売上高は四半期単位で過去最高の着地
- 営業利益は積極投資とLLM原価増に伴いYoYで減益も、既に原因対策済であり通期業績は達成見込み
- セキュリティ領域の戦略子会社「ExaSecurity」を立ち上げ
- ele&companyのグループ化により営業・デリバリー体制を強化

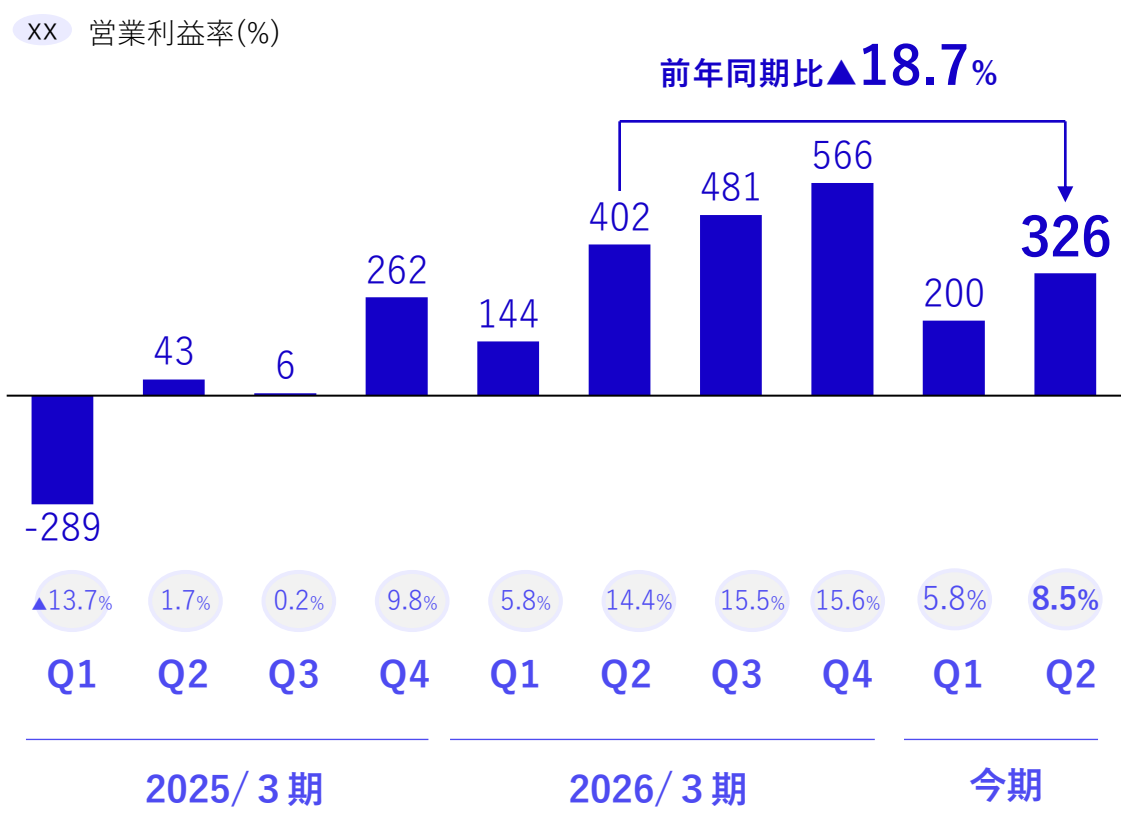
© Copyright ExaWizards Inc. All Rights Reserved.

売上高3,811百万円(前年同期比+36.5%)と四半期単位で過去最高で着地。営業利益は326百万円(前年同期比▲18.7%)と投資とLLM費用増の影響によりYoYでは減益

売上高（単位: 百万円）



営業利益（単位: 百万円）/営業利益率（単位: %）



© Copyright ExaWizards Inc. All Rights Reserved.

売上高成長率に比して、AIプロダクト/共通費の費用が上振れ。必要な投資は継続しつつ、コスト削減施策の効果発現により下期はコスト削減を見込む

前年とのQ2累計費用比較 (1)（単位：百万円）

	昨期	今期	費用増加率
AI プロダクト	1,244	2,236	79.6%（AIプロダクトセグメントのYoY売上高成長率42.6%）
AI ソリューション サービス (AISS)	2,325	2,879	23.7%（AISSセグメントのYoY売上高成長率33.5%）
共通費	1,121	1,616	44.2%（連結売上高のYoY売上高成長率36.5%）

費用増加の理由と下半期の見立て

前年同期比での増加要因

- ■ プロダクト開発投資
- ■ エクサベース AIの LLMコスト増
- ■ AIセキュリティ投資
- ■ コーポレートアクション
  - M&A 実施/プライム市場/子会社新設
- ■ 採用・リテンション強化
  - 賞与導入
  - エージェントフィーの上昇

下半期の方針と見立て

- ↓ 改善（詳細は後述）
  - 下期から売上回収
  - LLM調達方法の見直し
- ↗ 継続投資
  - 投資は継続
- → 横ばい
  - プライム移行は進行中
  - M&Aも継続して積極検討
  - 採用強化も継続

原因対策済で、通期営業利益は達成見込み

(1) 各種内訳についての数値は概算
(2) 全社費用：売上原価と販管費及び一般管理費を含めた費用

© Copyright ExaWizards Inc. All Rights Reserved.

2027年３月期 第２四半期連結累計損益計算書/EBITDA

（単位：百万円）	2027年3月期 Q2 連結累計実績	2026年3月期 Q2 連結累計実績	YoY成長率/差分
1 売上高	7,259	5,238	+38.6%
売上原価	2,996	1,633	-
2 売上総利益	4,263	3,604	+18.3%
売上総利益率	58.7%	68.8%	-10.1pt
販売費及び一般管理費	3,736	3,058	-
3 営業利益	527	546	-19
営業利益率	7.3%	10.4%	-3.2pt
営業外収益	30	10	-
営業外費用	46	19	-
4 経常利益	511	537	-42
特別利益	-	1	-
特別損失	-	-	-
5 税金等調整当期純利益	511	539	-28
法人税等合計	212	133	-
6 当期純利益	299	406	-107
7 親会社株主に帰属する当期純利益	296	385	-89
a EBITDA	880	742	+138

連結業績トピックス

1

AIプロダクト事業の継続的な成長に加え、AIソリューションサービス事業が強く成長した結果、前年同期比+38.6%の成長

2 3

粗利は改善も、投資とLLM費用増の影響により営業利益は昨年並みの水準

2 3 4 5 6 7

段階利益も着実に黒字を計上

a

EBITDAも前年同期比＋138百万円となり着実にキャッシュを創出

（注）EBITDA＝経常利益＋支払利息＋減価償却費（ソフトウエア、顧客関連資産等）

© Copyright ExaWizards Inc. All Rights Reserved.

02

セグメント別 業績概況

EXAWIZARDS

AIプロダクト事業はYoYで+46.4%、AIソリューションサービス事業も+32.4%と両セグメントともに高成長が継続

AIプロダクト事業

指標	27/3 Q2累計（単位：百万円）	26/3 Q2累計（単位：百万円）	YoY成長率/差分
売上高	3,231	2,206	+46.4%
売上総利益	2,321	1,943	+19.4%
売上総利益率	71.8%	88.1%	▲16.3pt
営業利益	995	961	+3.4%
営業利益率	30.8%	43.6%	▲12.8pt

概況

- 売上高は40%超の成長率
- セールステック領域における開発費、ならびにLLMコストの増加に伴い、営業利益額/利益率はYoYでは減少も今後改善の見込（詳細後述）

AIソリューションサービス事業

指標	27/3 Q2累計（単位：百万円）	26/3 Q2累計（単位：百万円）	YoY成長率/差分
売上高	4,116	3,109	+32.4%
売上総利益	2,063	1,729	+26.4%
売上総利益率	50.1%	55.6%	▲5.5pt
営業利益	1,237	783	+57.9%
営業利益率	30.0%	25.2%	+4.8pt

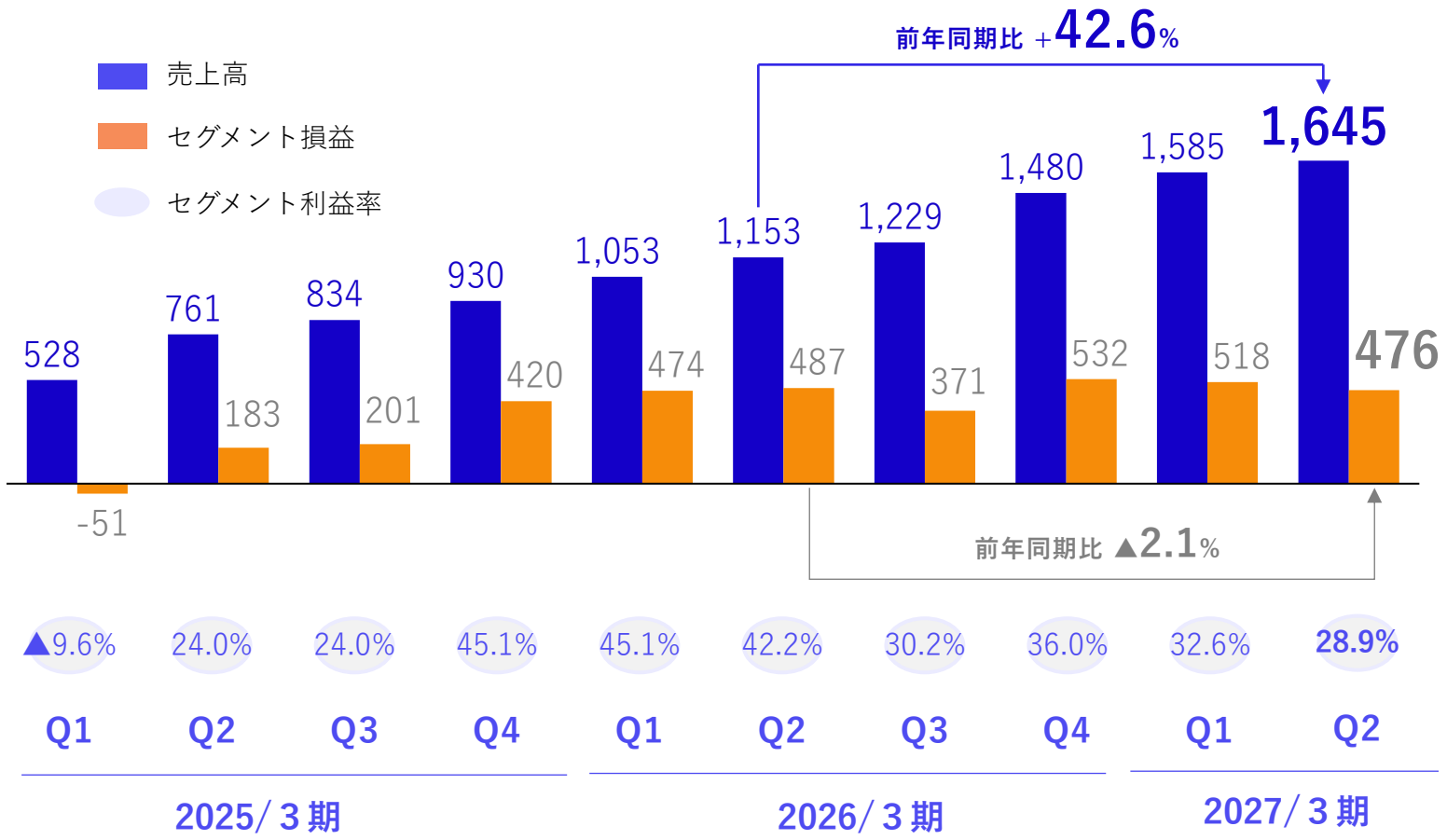
概況

- 売上高は30%超の成長となり、全社の成長を牽引
- 業務委託費の見直し、AI利活用による効率化施策が功を奏し、営業利益はYoYで+57.9%成長と急伸

© Copyright ExaWizards Inc. All Rights Reserved.

売上高は1,645百万円、営業利益は476百万円で着地

売上高推移（単位: 百万円）



主要ハイライト

- **売上高**
  - 前年同期比+42.6%
  - エクサベース AI(1)が成長を牽引
- **営業利益**
  - エクサベースAIにおける従量費無料のエコノミーモデルの精度向上に伴い、利用が急増した結果、費用が上昇
    →対応策は次ページ参照
  - セールステック領域への投資の影響でYoYで昨年水準並み

(1) 2026/7/1よりexaBase 生成AIをエクサベース AIに名称変更いたしました

© Copyright ExaWizards Inc. All Rights Reserved.

AIプロダクト事業｜営業利益率の推移

営業利益率のYoY比較	2026/3月期Q2(単体) 営業利益率 42.2%	−	影響①エコノミーモデル増に伴う費用増 10.3pt	−	影響②Sales Techへの投資 3.0pt	＝	2027/3月期Q2(単体) 営業利益率 28.9%

打ち手①：エクサベースAIの利益率改善

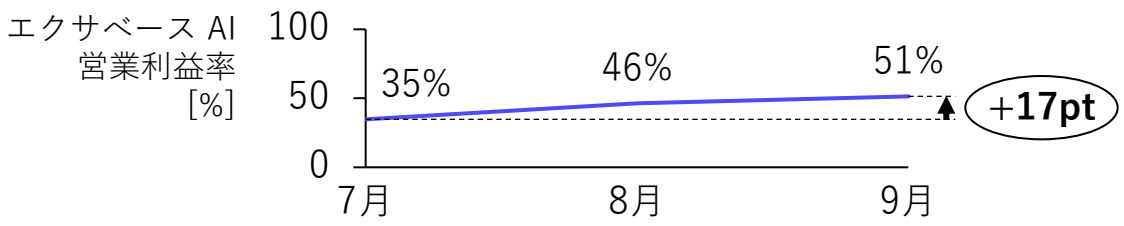
コスト最適化施策を複数同時で推進中

- LLM調達方法の見直し
  （一括調達、GSU(1)/PTU(2)の適正な導入など）
- キャッシュ効率改善
- オープンウェイトを含む多様なモデル/配給方法の検討

基本料金の見直し（効果発現はQ4以降）

- 原価に合わせて適宜更新予定

結果として、最も恩恵を受けるエクサベース AIの営業利益率も月次で上昇傾向



打ち手②：Sales Techは成果刈り取りへ

上半期で新規機能開発(以下参照)、ならびに採用における投資フェーズは終了

下期は、営業領域（営業ロープレ、シナリオプランニング、商談記録など）におけるAI利活用支援フェーズに移行し、売上成長に寄与

投資結果としての機能開発





(1) GSU (Generative AI Scale Unit)の略、(2) PTU (Provisioned Throughput Unit)の略
© Copyright ExaWizards Inc. All Rights Reserved.

エクサベース AIをはじめとする生成AIプロダクト群は成長を牽引。HRサービスは、四半期単位で過去最高の売上高を達成

区分	主要プロダクト	27/3 Q2累計（単位：百万円）	26/3 Q2累計（単位：百万円）	YoY	主要トピックス
生成AIプロダクト群	・エクサベース AI ・エクサベース IRアシスタント ・その他	2,214(1)	1,401	+55.3%	• 10月からバディエージェントを提供開始 • 代理店による販売が拡大し、中堅中小企業への導入が加速
人事: HR Tech	・エクサベース DXアセスメント＆ラーニング ・生成AI活用テスト ・AX推進支援パッケージなど	606	573	+5.6%	• AX人材育成の旺盛なニーズを受け、四半期単位で過去最高の売上高を達成 • AX推進支援パッケージの提供によりQ3も加速
営業: Sales Tech	・エクサベース ロープレ ・エクサベースセールスエージェント	158(2)	90(2)	+75.3%	• エーザイへの導入開始 • グループ会社スタジアム社との共同体制による営業支援伴走サービスの提供開始
ヘルスケア: Care/Med Tech	・CareWiz ・認知機能測定AI（認知症予防） ・歩行機能測定AI（リハビリ等）	241	202	+19.5%	• 認知機能AI診断支援アプリについてPMDAとの「先駆け総合評価相談」を開始
AIプロダクト合計(3)		3,231	2,206	+46.4%	

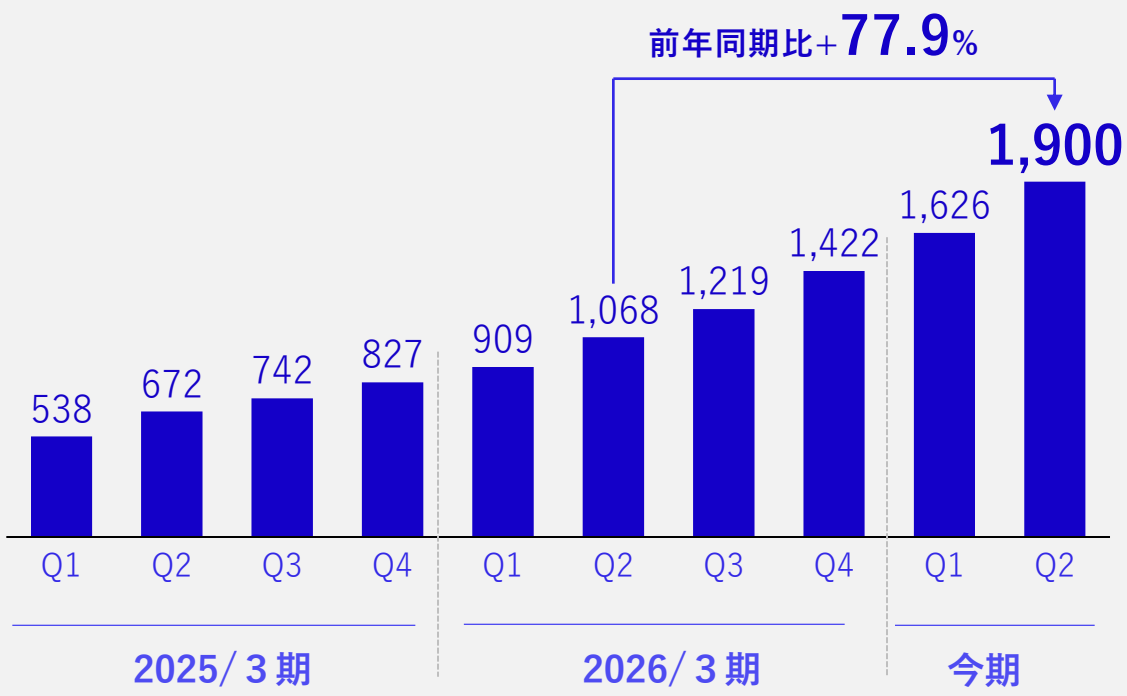
注記(1)内部取引調整後の金額 (2)特定顧客向け開発案件の売上を含む (3) 連結調整後の合計値なため、単純合算とは数値に差異あり。

© Copyright ExaWizards Inc. All Rights Reserved.

エクサベース AIの導入社数推移 (単位：社)

概況

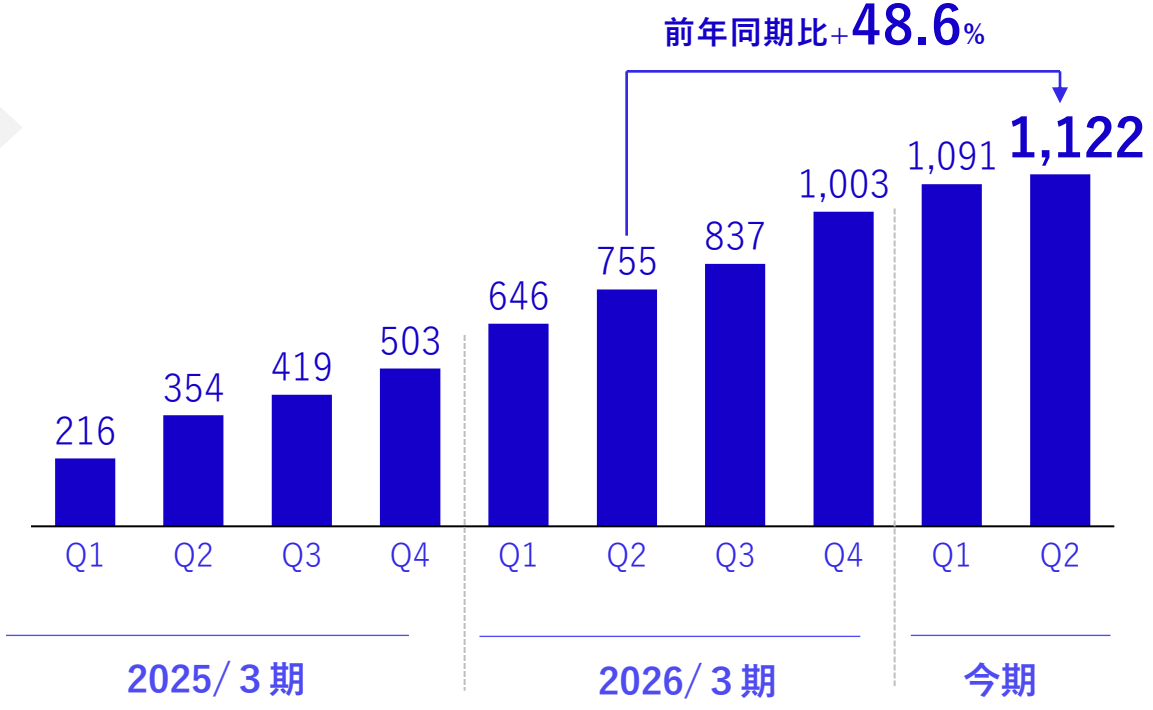
- 直販 / 代理店経由の獲得がともに順調に推移し、社数は昨年同期比+77.9%の1,900社に到達
- Q１に引き続き、地方の中堅中小企業の新規獲得が好調



生成AIプロダクト群の売上高推移(1) (単位：百万円)

概況

- 売上高はYoYで48.6%成長
- 中堅中小企業への導入が増加するも、初期アカウント数が多くないため、売上が社数の伸びに連動してくるのは下期以降の見込



注記：(1) 内部取引調整後の数値。2027年３月期第２四半期に一部プロダクトの集計方法の見直したことに伴い、2027年3月期第１四半期の数字も再集計後の数字を掲載。

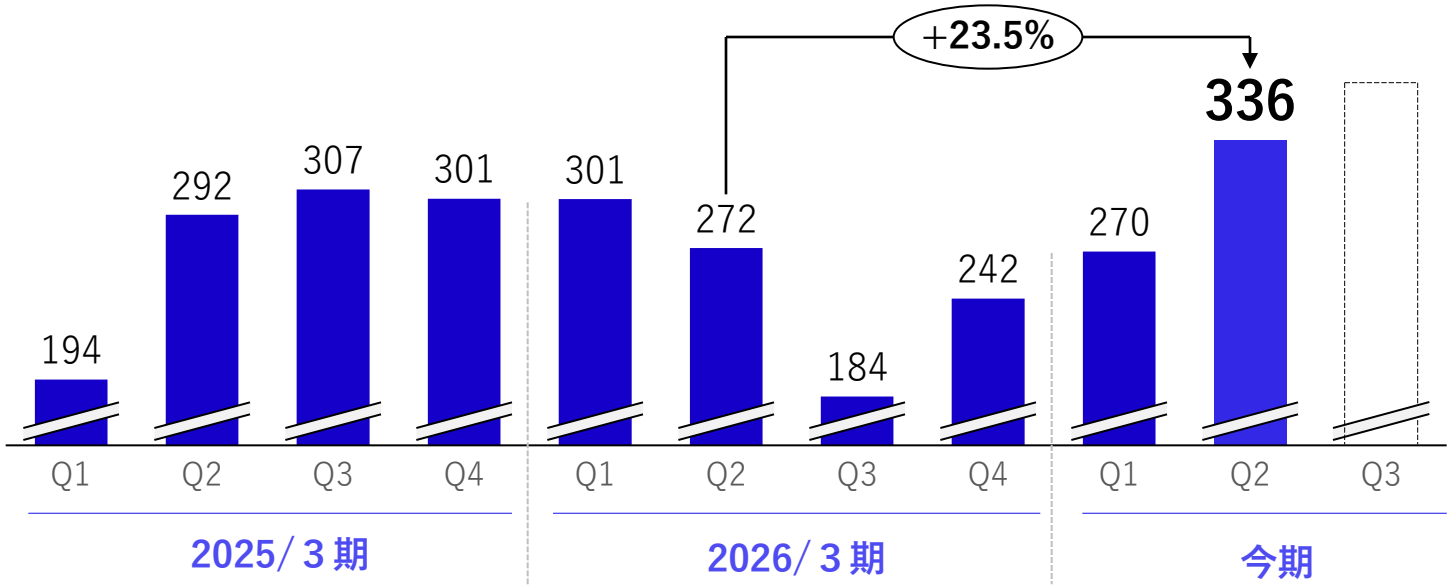
© Copyright ExaWizards Inc. All Rights Reserved.

AX人材育成の旺盛なニーズを受け、四半期単位で過去最高の売上高を達成

HR系サービスの売上高推移 (単位：百万円)

概況

- Q２で「生成AI活用テストBasic」「AX推進支援パッケージ」「AX人材要件定義サービス」などのAX育成系サービスを順次リリース
- 足元の引き合いも強く、Q３もQ２を上回るペースで成長見込



主要ハイライト

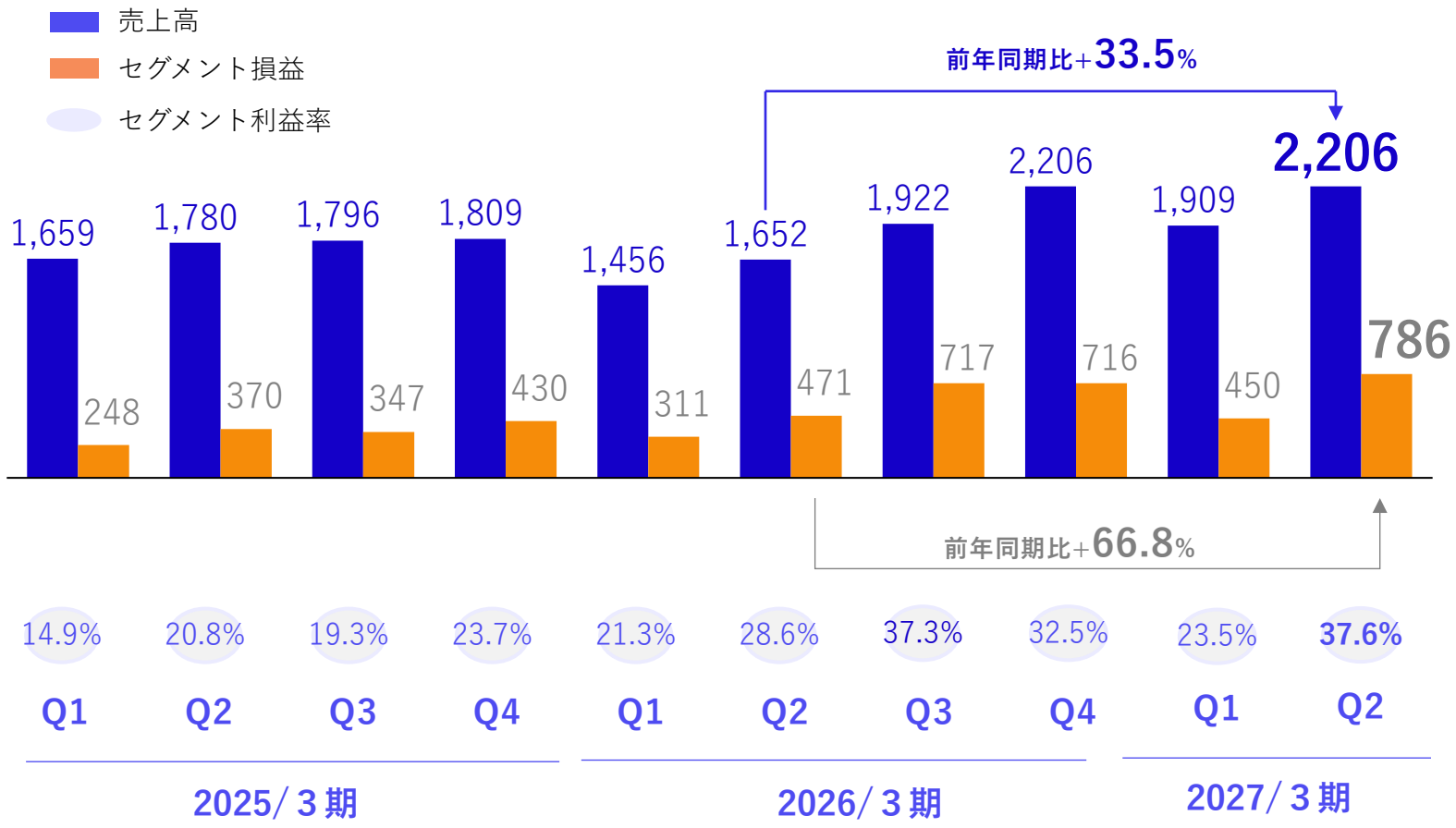
- 次世代経営幹部候補の可視化・育成案件も開始するなどHR系テーマのオファリングが拡大



© Copyright ExaWizards Inc. All Rights Reserved.

売上高は2,206百万円、営業利益は786百万円となりともに四半期単位で過去最高の数値で着地

売上高推移（単位: 百万円）



主要ハイライト

- **売上高**
  - 前年同期比＋33.5%
  - 戦略子会社のIT案件、フィジカルAI領域の新規案件など開発案件の幅が従来より拡大
- **営業利益**
  - 前年同期比+66.8%と大幅な増益を達成
  - 業務委託費の見直しをはじめとするコスト削減施策の効果が徐々に発現

© Copyright ExaWizards Inc. All Rights Reserved.

FFGとの業務提携が進み、AIファーストの組織変革が着実に進捗



これまでの歩み

2025.05
業務提携を締結
AIエージェント活用でFFG全体の変革を推進

2026.08
エクサフォワード九州を設立
福岡拠点の常駐型AI実装

2026.11　NEW
バックオフィス領域で提携を強化
エクサフォワード九州が伴走

AIファーストの組織変革にむけ、エクサフォワード九州がバックオフィス改革に伴走

FFGの「AIファーストの組織変革」

- 銀行業務全体を対象とする7つのコアユースケースのうち、バックオフィスは「AI×BPRで業務を抜本再設計」

01　Web化・システム化
申込を電子で受付し、後続工程へデータを自動連携

02　AIエージェント・RPA
書類チェックやシステム入力を自動化

03　BPR
既存の規程・ルールを前提とせずプロセスを再設計

エクサフォワード九州は、一部門の局所最適化ではなく、部門をまたいだ会社全体の変革を推進

- 業務プロセスの可視化と変革案の立案からAIエージェントの開発・実装現場への定着までを一貫して支援
- 福岡拠点のコンサル・エンジニアが現場に常駐し伴走

FFGとの連携のもと、本提携を通じて蓄積される当社グループのAI活用ノウハウを生かし、九州の自治体や企業のAI活用を支える取り組みも拡大していく

© Copyright ExaWizards Inc. All Rights Reserved.

稼働中の基幹システムを対象にLiving Spec生成サービス案件が拡大

EXA FRONTIER EDGE ：Living Spec生成サービスが好調

西部ガスとの取り組み



グローバルERPパッケージの会計システムに「Living Spec生成サービス」を適用

- AIで自動仕訳処理の仕様書を約2週間で作成し、初期解析の迅速化と処理内容の可視化を確認

中国電力との取り組み



中国電力の水力発電計画業務システムにおいてAI駆動開発による再構築を推進

- AIが生成した仕様書をもとにクラウドネイティブな技術構成で検証システムを再構築
- 約2カ月で現行システムとの動作一致を確認

従来ではITベンダーのスコープであった案件もExa Frontier Edgeのカバー範囲となり、今後のIT領域案件の拡大が期待

© Copyright ExaWizards Inc. All Rights Reserved.

グローバル展開を見据えたフィジカルAIの案件を住友電装と開始



住友電装の「スマートファクトリー構想」の一部を担うマルチAIエージェントの土台となる複数のAIエージェントの構築を2026年8月より開始

目指す姿 生産ラインを自律的に制御する工場
役割の異なる複数のAIエージェントが連携する「マルチAIエージェント」環境で実現

土台づくり → 拡張・展開

STEP 1｜第1弾 2026年8月 開発着手・実際の生産ラインで実証

① 監査AI	② 介入AI	③ レビューAI
生産ペースの低下や異常の予兆をリアルタイムに検知	状況に応じた的確な介入を促す	対話を通じて暗黙知を学び、蓄積する
基にするデータ：カメラ映像・設備データ	働きかける相手：現場リーダー	対話する相手：熟練者・現場リーダー

STEP 2｜今後

①グローバル化
- 今年度中に海外拠点で実証し、来年度のグローバル全面展開が目標

②人材育成
- レビューAIで蓄積される独自のノウハウデータを活用予定

本取り組みにおけるAIプロダクト/サービスを組み合わせた形でソリューション化し、製造業に展開

© Copyright ExaWizards Inc. All Rights Reserved.

03.

ビジネス・アップデート

EXAWIZARDS

AIエージェントの進化にともない、エクサウィザーズグループのTAMは拡大を続けている

AIは導入から成果創出フェーズへ[1]…

自社で生成AIを活用している **84%**

活用効果は期待以上 **64%**

…結果、大きなパラダイムシフトが起きつつある

01 ビジネスモデルの崩壊
人月モデルの限界、FDEの勃興、など

02 内製化・ベンダー依存からの脱却
一人一人が開発者になり、内製化が加速

03 AIとの共存で人の役割が変化
人手不足をAIが補い、AIが得意な業務の担い手にはリスキルが必要に

04 価値の源泉はセキュリティに
高まるセキュリティリスク、AI時代のガバナンス設計

パラダイムシフトによるTAMの拡大

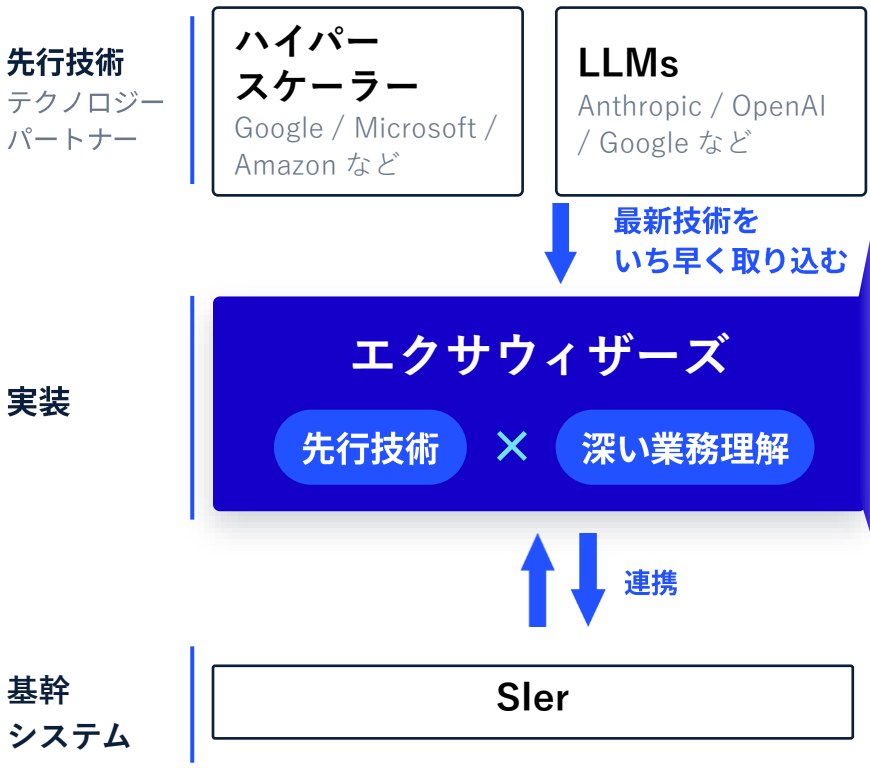
“AI is eating Software”で、アプローチ可能な市場規模は国内でも約**22兆円**規模に

BPO[2]（業務委託）	5.7兆円
SI[3](受託開発)	8.7兆円
AIシステム[4]	4.2兆円
システム保守・運用[5]	3.3兆円
BPR[6]	1,500億円

出所：(1) PwC Japan「生成AIに関する実態調査2026 春 6カ国比較」（84%：2026春において活用中/推進中と回答した人の割合、64%：当初の期待に対する現時点の生成AI活用の効果として「期待を大きく上回っている」「期待通りの効果があった」と回答した割合）／(2) BPO：矢野経済研究所「2025-2026 BPO(ビジネスプロセスアウトソーシング)市場の実態と展望」、(3)SI：総務省「2021年情報通信業基本調査」、(4) AIシステム：IDC「国内AIシステム市場予測、2024年～2029年」、(5)保守・運用：矢野経済研究所「2026 マネージドサービスマーケットの実態と展望」、(6)BPR：IMARC Group（https://www.imarcgroup.com/japan-business-process-management-market）。合計は各市場規模の単純合計

様々な企業ニーズにこたえるべく、ハイパースケーラーやLLMs/SIerとも連携しながらエクサウィザーズグループとしてAIの現場実装にかかる価値を包括的に提供

エクサウィザーズの立ち位置



提供価値とサービスラインナップ

提供価値	当社のサービスラインナップ	
01 業務プロセス変革にコミット	AIトランスフォーメーションサービス	エクサウィザーズ
	AIネイティブSI	Exa Frontier Edge / エクスウェア
	現場伴走	ExaWizards / ele&company / スタジアム / エクサフォワード九州
02 安心・安全なAIの利用	AIプロダクト群	Exa Enterprise AI
	AIセキュリティサービス	ExaSecurity
	exaBase Studio	エクサウィザーズ
03 AI時代にヒトの新たな能力を開放	AX人材育成	Exa Enterprise AI
04 未来につながる投資	R&D	Exa Interaction Design Lab

3P(Platform/Product/People)×Frontier戦略で推進

© Copyright ExaWizards Inc. All Rights Reserved.

NEW

エクサウィザーズグループの強みを結集し、安心・安全にAIを使える環境を提供することでAIエージェントの開発運用効率を飛躍的に向上

エクサウィザーズグループの強み

サイバー攻撃の高度化に伴い求められる包括的なセキュリティ対策をグループ横断で提供

エクサウィザーズ
業務設計、exaBase Studioを中核としたAIエージェント基盤の提供、全体統括

×

Exa Frontier Edge
AI駆動開発環境の構築、開発・テスト支援

×

Exa Interaction Design Lab
ローカルLLM基盤の構築・運用

×

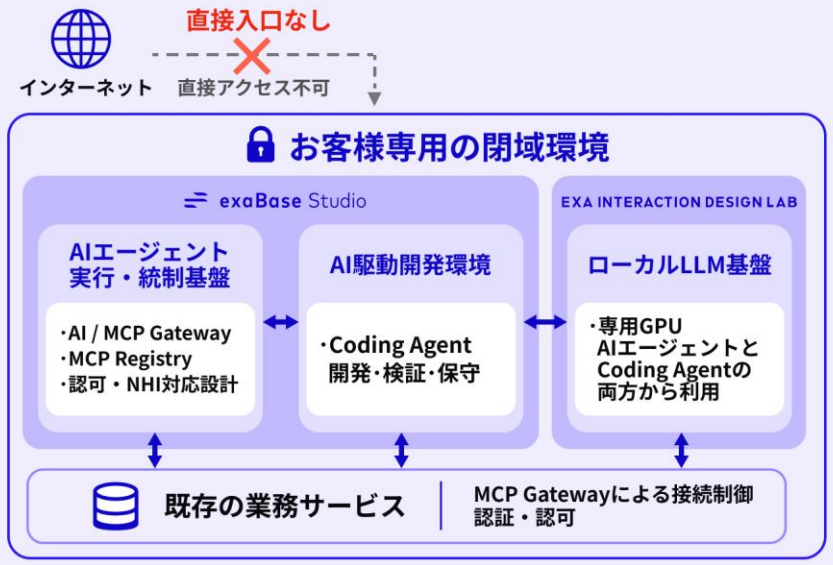
ExaSecurity
AIセキュリティ診断・
レッドチーミング

異なる提供形態に応じた、2つのセキュリティアプローチ

閉域環境での統制・AI駆動化×継続的なリスクマネジメント

プライベートクラウド版

攻撃経路を最小化し、開発・運用もAIで効率化



SaaS版

リスクを見つけ、対処し続ける



1 セキュリティステータスの可視化
顧客開発コンテナを含む継続的な脆弱性検知

2 お客様と連携した脆弱性対応・緊急停止ルールの明確化
緊急停止条件の協議

※Fortune 100の約50%が導入しているクラウドセキュリティプラットフォーム「Wiz」を採用し、お客様が開発・実行するコンテナ環境を含めた脆弱性の継続的な監視体制を強化

© Copyright ExaWizards Inc. All Rights Reserved.

NEW

今後パートナーシップを通じて、ExaSecurityはクラウド・AI環境のリスクを「診断」から「改善」まで一気通貫での支援を開始予定

当社のセキュリティ領域における方針

AI時代のアタックサーフェイス管理



アプリケーションの脆弱性のみを検知するのではなく、
横断的な検知と**AIレッドチーミング**の両輪が必要

ExaSecurityのサービスイメージ

可視化から改善までを循環させ、継続的に守る
（セキュリティ領域でのグローバルパートナーシップも検討中）



「どこにリスクがあるか」と「本当に攻撃されるか」を両面で把握し、専門家の支援で優先度の高い対策から実行。
AI・クラウド活用とセキュリティ強化を両立

© Copyright ExaWizards Inc. All Rights Reserved.

3P×Frontier戦略の進捗：ele&companyのグループ化

NEW



会社概要

会社名	株式会社ele&company （2024年4月設立）
事業内容	戦略・業務・ITの総合 コンサルティングおよびAX支援
従業員数	22名（2026年9月時点）
代表取締役	森　兼作

業務プロセスにAIを組み込むラストワンマイルで伴走できるele&companyがエクサウィザーズグループにグループイン

Strategy



戦略策定から0→1の
事業創出まで

主な支援内容

- 新規事業の構想・立ち上げ
- 事業戦略・提携戦略の策定
- AI前提の事業モデル設計

Operations & Business



プロセス再設計・業務改革
・組織変革

主な支援内容

- 営業プロセス刷新・CRM導入
- 業務改革・組織変革・BPR支援
- AIによる業務自動化の設計

Technology



構想策定から
導入・定着、PJ管理

主な支援内容

- 大規模PJのPMO・発注者側支援
- IT・DX推進の構想策定
- AI基盤の要件定義・ガバナンス

EXAWIZARDS
ele&company
両社のグループシナジー

- **"1名、1か月"の体制から小さく入る**
- **翌日から顧客常駐可能**
- **エンプラ営業のノウハウ拡張**

© Copyright ExaWizards Inc. All Rights Reserved.

今後のエクサウィザーズグループの成長に向けて注目いただきたい４つのポイント

01 AIエージェント時代に適した事業ポートフォリオ	• exaBase Studioにより業務プロセスにAIエージェントを安心・安全に組み込みが可能 • AI/AIエージェントを業務に装着する伴走支援 • 全社変革から現場に入り込むFDE(1)モデルまで幅広いAIニーズに対応可能なAIソリューションサービス • AIを使いこなす社員を増やすAX人材育成 • 安心・安全にAIを利活用できるセキュリティ領域のサービス
02 AIドリブン経営による変革とサービス品質向上	• 自社がAIエージェントの実験場 • 社内で成果の出たAI/AIエージェントはAIプロダクトとして順次リリース
03 強固なパートナーシップ	• NTTドコモビジネスに加え、SMFGとも資本業務提携 • 業界のリーディングカンパニーとの協業も今後推進 • ele&companyのグループイン。M&Aを通じたエクサウィザーズグループとしての事業成長
04 年々拡大するTAMポテンシャル	• いま見えているだけでも、当社事業の対象市場は拡大 • ”AI is eating Software” • 既存SaaSとしての戦い方でなく、これから更に拡大していくAIプロダクト/サービスに向き合う挑戦者として事業を展開

注記：(1) FDE：Forward Deployed Engineerの略。AIや複雑なシステムを顧客の現場へ導入する際、最前線に入り込んで要件定義・実装・運用・定着まで一気通貫で支援するエンジニア職

© Copyright ExaWizards Inc. All Rights Reserved.

04.

2027年３月期
通期業績見通し

EXAWIZARDS

基本方針

01

戦略的投資/M&A強化

AI業界のスピードに対応すべく、戦略的な投資/M&Aを強化

02

成長へのコミット

同時に、売上高/営業利益の成長へコミット

03

株主還元の強化

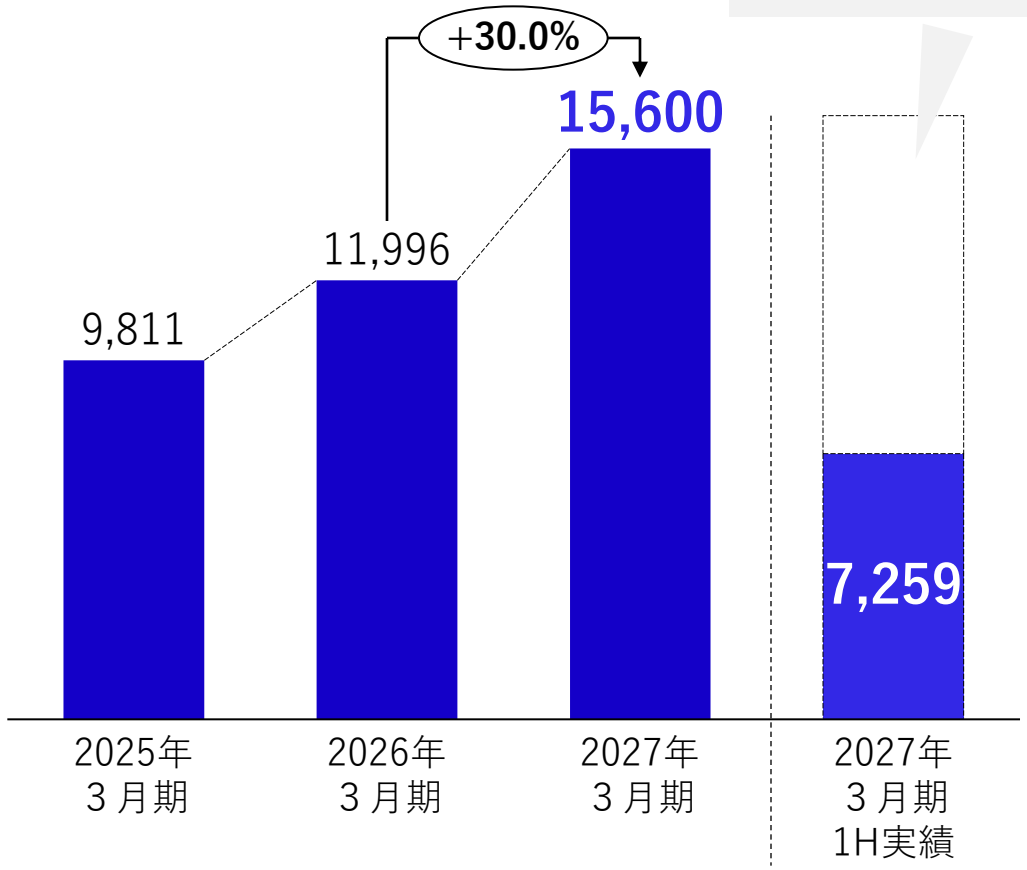
株主還元の強化＆プライム市場への移行

© Copyright ExaWizards Inc. All Rights Reserved.

売上高15,600百万円/営業利益2,300百万円は据え置くも、期初想定を上回るAIソリューションサービス事業の成長とAIプロダクト事業の原価改善/トップラインの成長によりアップサイドを狙う

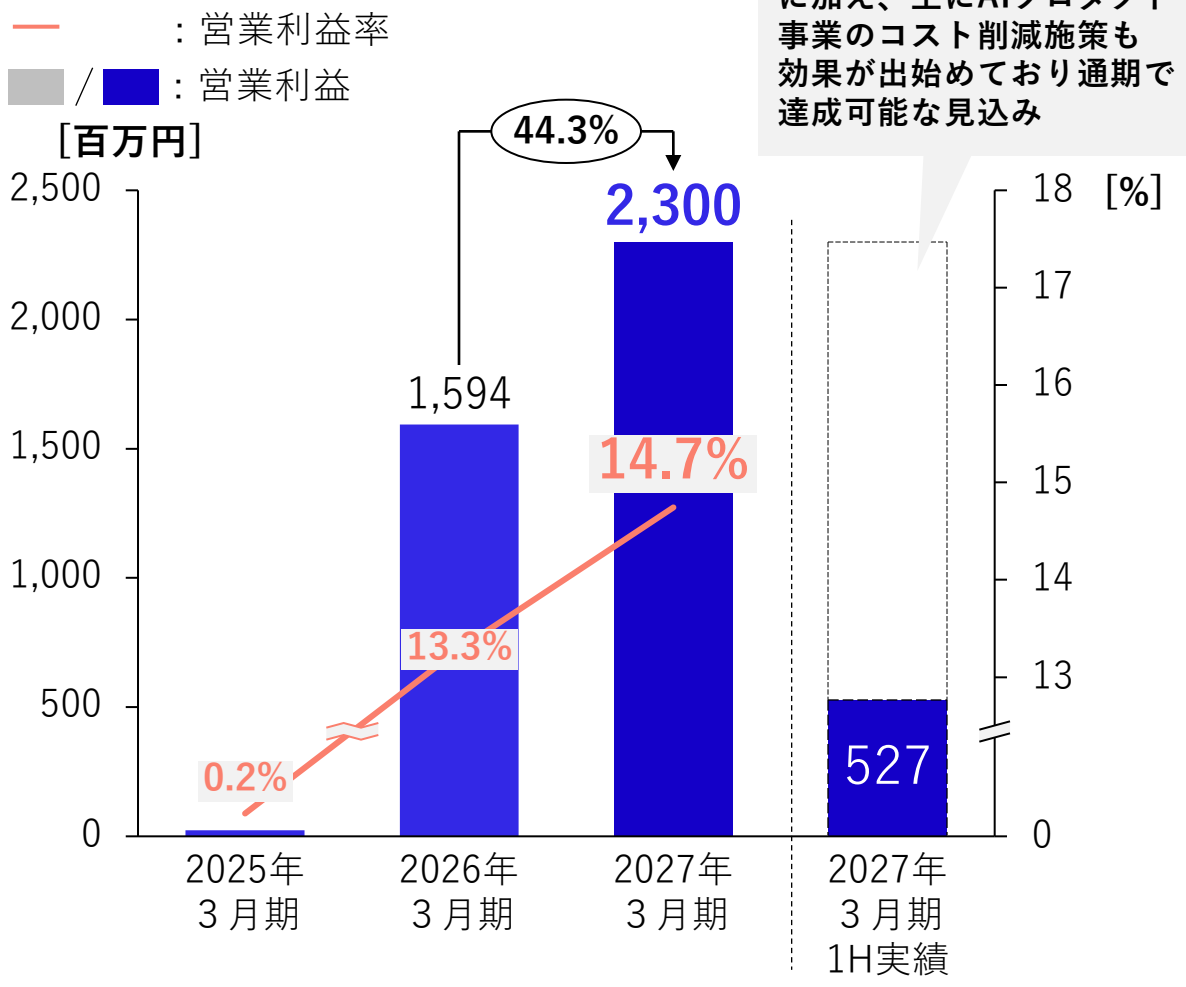
売上高：通期（百万円）

順調に進捗しており通期業績のアップサイドも視野



営業利益(百万円) / 営業利益率(%)：通期

両セグメントの成長に加え、主にAIプロダクト事業のコスト削減施策も効果が出始めており通期で達成可能な見込み



© Copyright ExaWizards Inc. All Rights Reserved.

05.

Appendix

EXAWIZARDS

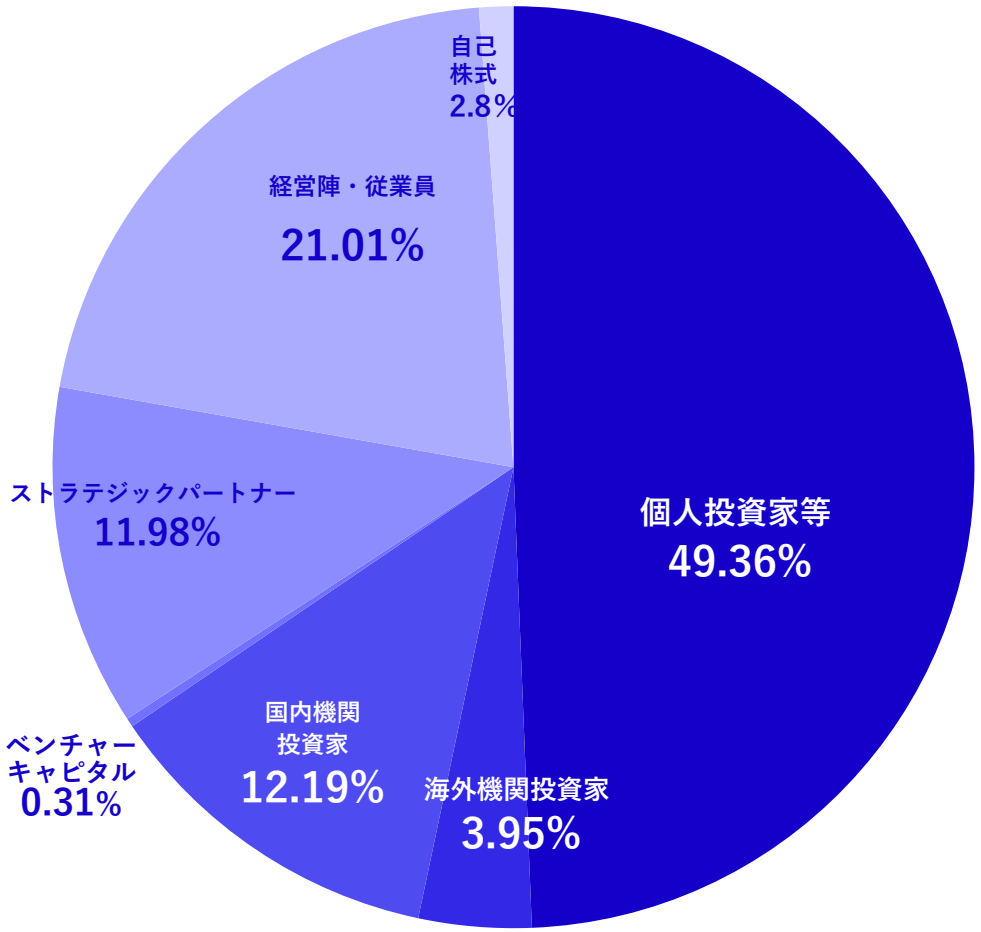
会社概要



会社名	株式会社エクサウィザーズ
所在地	〒108-0023 東京都港区芝浦4丁目2－8 住友不動産三田ファーストビル5階
その他拠点	浜松、名古屋、大阪
設立	2016年2月
資本金	52億円（2026年9月末時点）
従業員数	699名（連結、2026年9月末時点/正社員）
事業内容	AIを利活用したサービス開発による 産業革新と社会課題の解決
経営陣	代表取締役社長　春田 真 常務取締役　大植 択真 取締役　坂根 裕 社外取締役　宗像 直子 社外取締役　佐藤 学 社外取締役　杉田 浩章 社外取締役　渡辺 雅之 常勤社外監査役　都留 茂 社外監査役　飯田 善 社外監査役　渥美 優子

© Copyright ExaWizards Inc. All Rights Reserved.

株主構成(2026年9月30日現在)



発行可能株式総数	301,232,000株
発行済株式の総数	97,085,500株
株主数	42,373名

株主名(1)	持株数（千株）	議決権比率(2)（%）
春田　真 (3)	15,766	16.45%
株式会社三井住友フィナンシャルグループ	9,550	9.97%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	4,071	4.25%
坂根　裕	3,782	3.94%
古屋　俊和	3,040	3.17%
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	2,567	2.68%
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG （FE－AC）	1,738	1.81%

注記：(1) 参考：2026年9月30日時点での当社保有自己株式数は1,161,049株。 (2)発行済株式(自己株式及び議決権を保有しない単元未満株を除く)の総数に対する所有株式数の割合。なお、株式付与ESOP信託分(479,658株)は自己株式に含めておりません。
(3) 春田真氏の持株数及び持株比率は、春田氏名義の持株数（1,581,314株、持株比率1.62%）に加え、同氏の資産管理会社である株式会社ベータカタリスト（8,185千株、持株比率8.54%）、株式会社RH（3,000千株、持株比率3.13%）、株式会社KH（3,000千株、持株比率3.13%）の持株数を合算し、再計算しています。

© Copyright ExaWizards Inc. All Rights Reserved.

2027年３月期 第２四半期 連結貸借対照表

（百万円）	2025年３月期	2026年３月期	2027年３月期 第２四半期
流動資産	**5,229**	**6,812**	**11,178**
現金及び預金	3,008	3,979	8,177
売掛金及び契約資産	1,870	2,355	2,360
その他の流動資産	349	477	640
固定資産	**1,795**	**2,624**	**3,775**
有形固定資産	10	122	190
無形固定資産	1,406	1,895	2,881
のれん	56	4	626
顧客関連資産	1,030	939	893
ソフトウェア	319	951	1,362
投資その他の資産	377	606	702
資産合計	**7,024**	**9,436**	**14,953**

（百万円）	2025年３月期	2026年３月期	2027年３月期 第２四半期
流動負債	**2,065**	**2,606**	**2,621**
１年内返済予定の長期借入金	600	360	360
未払金	350	775	709
未払費用	432	451	579
その他流動負債	682	1,018	972
固定負債	**2,419**	**2,079**	**1,950**
長期借入金(1)	1,950	1,875	1,748
その他固定負債	469	204	202
純資産合計	**2,539**	**4,750**	**10,380**
資本金	2,440	2,491	5,206
資本剰余金	4,588	4,638	7,305
利益剰余金	▲3,437	▲1,904	▲1,610
自己株式	▲1,182	▲685	▲650
その他	129	210	129
負債及び純資産合計	**7,024**	**9,436**	**14,953**

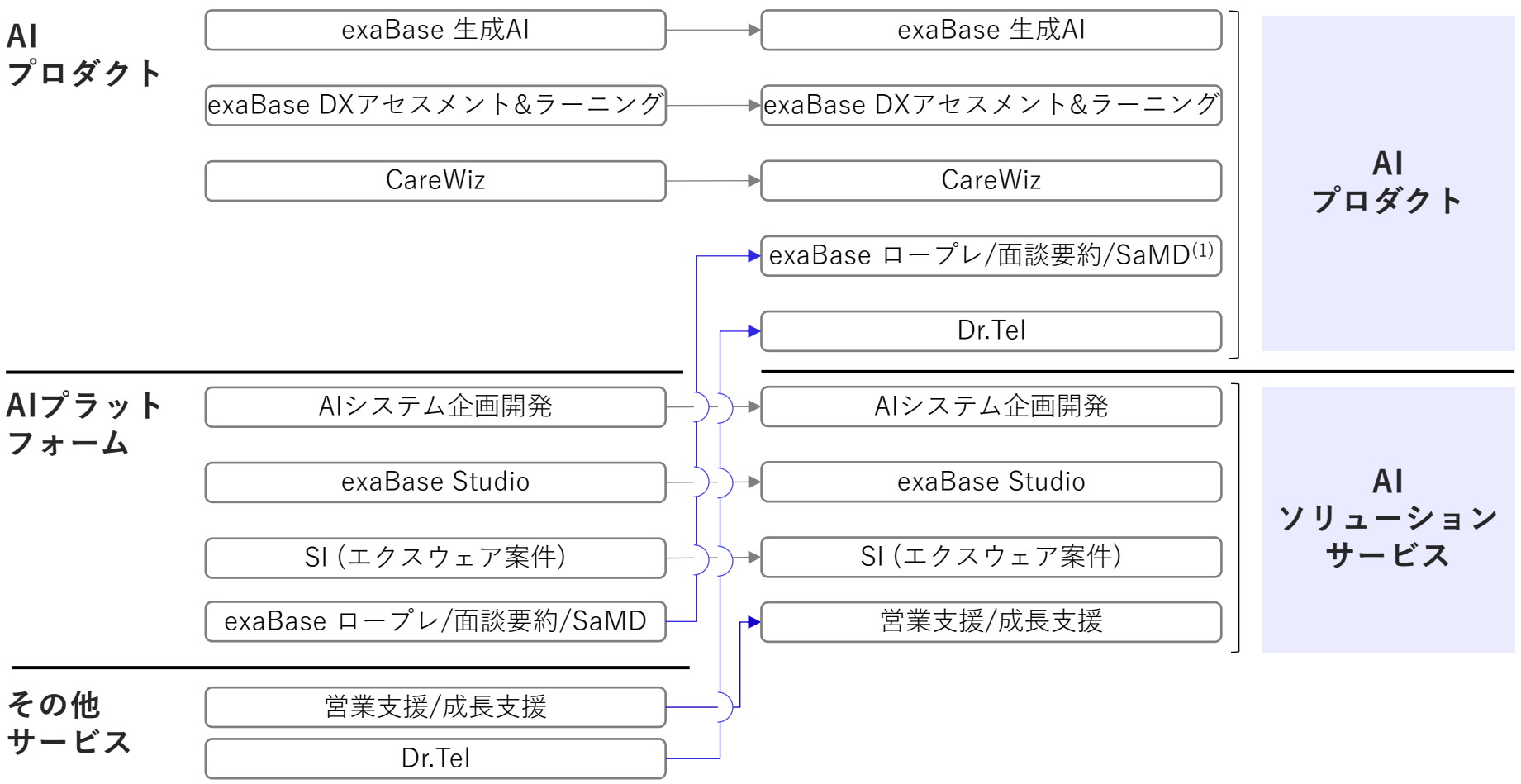
注記：(1)全額固定金利とし調達をしており、市場金利の変動による影響を最小化しております

© Copyright ExaWizards Inc. All Rights Reserved.

AIプロダクト事業の一層の加速に向けてセグメントを第２四半期より変更

セグメント変更理由

AIプロダクト事業をより一層加速していくため、顧客の現場に深く入り込んでニーズを探索していく事業を集約

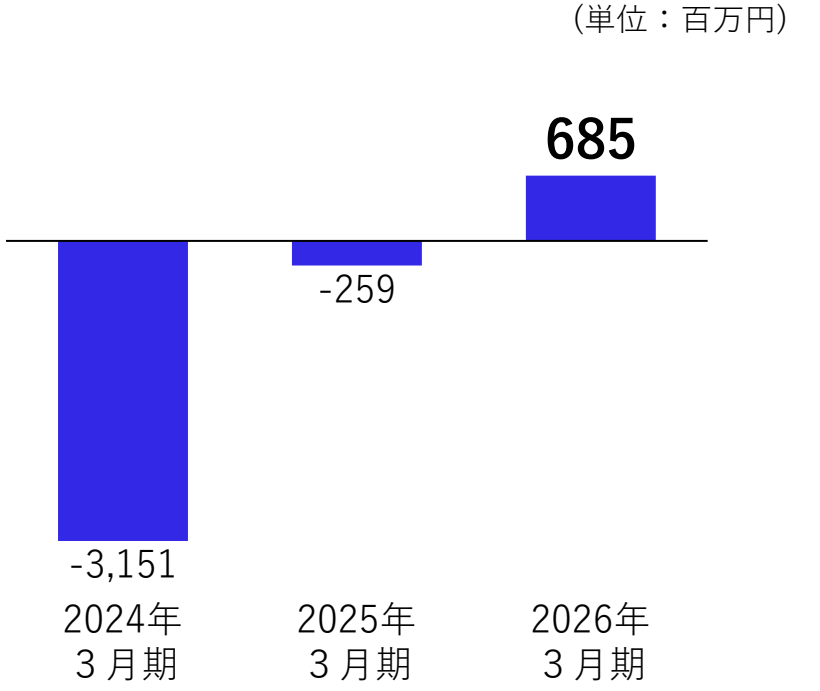


注記：(1)ExaMDにおけるプロジェクト案件については、AIソリューションサービスセグメントに該当

© Copyright ExaWizards Inc. All Rights Reserved.

FCF黒字化に伴い、株主の皆様へも利益還元が開始できるフェーズに入ったと判断。成長投資を最優先にしつつ、投資家層の拡大を目的とした配当を2027年3月期より開始予定。

フリーキャッシュフロー(1)の推移



注記：(1) 営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合算

配当方針

事業成長にむけた投資方針

- 中長期的な企業価値の向上に資する投資にキャッシュフローは優先的に分配

配当方針

- キャッシュフロー創出力の向上に合わせ、成長投資を阻害しない範囲で株主への利益還元を開始
- 機関投資家の組み入れ促進、及び個人投資家の長期保有の促進を企図し、安定的かつ継続的な株主還元の実施

配当予想（2027年３月期）

- 中間配当： -
- 期末配当：5.00円

配当に加え、より多様な投資家の組み込みを視野にプライム市場に向けた正式な準備を開始

© Copyright ExaWizards Inc. All Rights Reserved.

本資料の取り扱いについて

- 本資料は、当社への理解を深めていただくために、情報提供のみを目的として当社が作成したものであり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。

- 本資料に含まれる業績予想等の将来に関する記述（当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報及び成長余力等が含まれますが、これらに限られません。）は、本資料の発表日現在における当社の判断及び利用可能な情報等に基づくものであり、将来の業績等を保証するものではなく、様々なリスクや不確実性を内包するものです。実際の業績等は、環境の変化などにより、予想と異なる可能性があることにご留意ください。

- 本資料には、当社の競争環境、業界のトレンドや一般的な社会構造の変化に関する情報等の当社以外に関する情報が含まれています。当社は、これらの情報の正確性、合理性及び適切性等について独自の検証を行っておらず、いかなる当該情報についてもこれらを保証するものではありません。

© Copyright ExaWizards Inc. All Rights Reserved.


EXAWIZARDS
AIで、ひとに力を。よりよい社会を。